



目次 Contents

青年部活動	2~4
女性部活動	4~5
酪農体験実習	6~7
コンプライアンス研修	7
中春別中学校出張授業	8
豊原酪農振興会	9
乳牛改良同志会通信	10

未来牧場通信	11
営農対策情報	12
別海高校活動報告	13
JAグループ通信	14
理事会の動き・乳質乳価	15
正組合員加入のご案内	16
生乳課情報	17
クロスワード	18

第71回 全道JA青年部大会

Step For The Future ～希望を繋ぐ、力強い農業へ！～

「Step For The Future ～希望を繋ぐ、力強い農業へ！～」と題した第71回全道JA青年部大会が12月8日(木)から9日(金)までの2日間において札幌パークホテルにて開催され、3年ぶりの実開催となる大会に全道各地の盟友が一堂に集いました。当青年部からは4人の部員が参加しました。



北海道農協青年部協議会の稲村政崇会長より挨拶があり大会が始まりました。

1日目は、「青年の主張発表」と「活動実績発表」が行われ、各地域の代表者が組織での活動内容や、農業や盟友との関りを通じて感じている熱い思い、これからの目標などの発表が行われました。

それぞれ6地区の代表者が発表を行い、青年の主張発表ではJA摩周湖青年部の牧野瀬佳貴さんが最優秀賞に選ばれました。新規就農を経て酪農業に従事した牧野瀬さんが、青

年部活動や自身の「新規就農者」という立場を踏まえて感じた、地域の活性化や農業の魅力発信の重要性を主張。また、地方創生の一端を担う新規就農をより魅力的に見せることを目的に、「6次化」「乳製品の輸出」を目標に経営展開をしていきたいと話されておりまし

た。青年部活動実績発表ではJA新得町青年部が最優秀賞に選ばれました。JA新得町青年部が、食農教育として地元の子供達に農業への関心や理解を深めてもらうことを目的に町内産食材を活用した学校給食プロジェクトを通じ、役場や農協、給食センターなど、地域一丸となつて食と農の大切さや繋がりを伝えていくことが大切であると話されておりました。

また、本大会は農業青年やJA青年部のイメージアップを図るための人材発掘を目的とした「純農BOY



オーディション」も並行して行っており、根室地区代表として当青年部より伊藤孝彦部員が出場しました。活動実績発表終了後の全体懇親会では、催しとしてオーディション参加者による自己紹介が行われ、各地区の代表者は限られた時間の中で、農業や青年部活動に対する熱い思いを話されており、会場は大盛り上がりとなりました。グランプリには、J

若い力を結集して未来の酪農郷を築こう！

Y o u t h A s s o c i a t i o n



Aめむろ青年部の武藤駿輔さんが輝きました。惜しくも伊藤部員はグランプリを逃しましたが、沢山の盟友が見守る中、堂々とした自己紹介をして会場を沸かせておりました。

2日目は、全国農協青年組織協議会参与の柿寫洋一氏を講師に招き「JAの機能とJA青年組織について」と題して基調講演が行われました。元々「ア

ンチJA」であり、JAを活用しない経営方針で営農をしていた柿寫氏が、試行錯誤しながらも自身の農業経営を通じて協同組合組織の役割や重要性を理解し、所属JAで青年部組織を創設後、仲間と共に課題解決に努めてきた中で感じた、組織のスケールメリットや結集すること



の重要性を話されておりました。盟友一同、今後の酪農の刺激となる貴重なお話をいただきました。

基調講演後は本大会に移り、表彰式や大会宣言の上程が行われ閉会となりました。

今回の全道大会を通じて得た経験や刺激を生かして、今後の営農・青年部活動がさらに活発になるように努めていきます。

ロールパックメッセージに係る標語入賞者の表彰並びにお礼品と乳製品の配布



青年部では、5月から6月にかけて募集をし、10月に作成したロールパックメッセージに係る標語入賞者の表彰式並びに標語募集に係る協力のお礼品と消費拡大を目的とした乳製品の配布を、11月17日(木)に中春別小学校、12月6日(火)に中春別中学校にて行いました。当日は、入賞者に向けた賞状と図書カード、ご協力いただいた全校生徒には標語募集に係るお礼品として消費拡大グッズの配布並びにコロナ禍における乳製品消費拡大を目的に、飲むヨーグルトを配布させていただき、両校の代表者に贈呈をしました。

入賞者については、中春別中学校より最優秀賞が1名、優秀賞が2名、中春別小学校からは優秀賞が4名の結果となり、最優秀作品は(株)なかしゅんべつ未来牧場全酪連育成センターにて展示中です。沢山のご協力ありがとうございます。

また、乳製品の配布にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大により経済や日常生活など、様々な面において影響を及ぼし、農業分野においても同様に牛乳・乳製品需要に大きく影響を受けていることを踏まえ、こうした問題の解消や緩和に向けて少しでも尽力したいという思いや、地域の方々との関係を絶やさず、交流や連携を図り、地域に根差した青年部活動や社会貢献を図るため、配布をさせていただきました。快くご協力をいただきました両校にはこの場を借りてお礼申し上げます。なお、配布した乳製品については、給食の際に食べていただきます。今後も、時代に即した形で牛乳・乳製品の消費拡大を行っていききたいと思います。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

Y o n g w o m e n ' s D i v i s i o n

あざやかなリースがたくさんできました

12月8日(木)標茶町にお住まいの菊池さんを講師に招き、しめ縄リース講習会を開催しました。毎年フラワーアレンジメントを開催していたのですが、違うものを作ってみたいという声もあり、しめ縄リースを作りました。16名と沢山の部員が参加し、講師にリースに付けるお花を選んでいただき、自分たちで飾る場所をイメージしながら、世界に一つの色とりどりの素敵な作品を作りあげました。



笑い声が沢山でした

1月19日(木)新年交礼会・視察研修が開催され沢山の方が参加し、天候にも恵まれ、延期になることもなく無事に開催する事が出来ました。

まず始めに、別海町生涯学習センター『みなくる』の視察研修を行いました。皆さん興味津々な眼差しでたくさんある部屋を一つ一つ見て回り、質問をしたり、感想を言い合ったりしていました。視察を終え、ジューコハウスに移動後、南澤部長より開会の挨拶と今後の活動についてお話していただきました。

豪華な食事が並び、久しぶりに顔を合わせた部員同士、終始会話が絶えない賑やかな会食となりました。食事が一



段落したところで、お楽しみビンゴ大会を開催し、全員がハズレなしでオシャレな景品や面白い景品を獲得し、とても盛り上がりました。最後に上田副部長から閉会の挨拶があり、新年交礼会は終了しました。





酪農体験

学生・一般の方が訪れ、酪農ヘルパー同行実習で搾乳・給餌等の体験を行いました。

公益財団法人鯉淵学園 鯉淵学園農業栄養専門学校



12月20日～12月29日

積雪のあるなかでの作業でしたが、ヘルパー職員に次の作業を自ら確認をする等、積極的に行動し、学ぼうとする様子が見られました。

「北海道の冬は過酷なイメージがあったが、12月の天候は過ごしやすくと感じた。夏・冬とインターンシップに来て、ヘルパーでしか経験が出来ないことを沢山できてよかったです。」と、別海町をより知ってもらおう良い体験となったようでした。



1月7日～1月13日



新・農業人フェアに足を運んでくれた一般の方が、中春別で酪農の体験を希望し、酪農ヘルパー同行実習で搾乳・給餌等の体験を行いました。

「慣れない作業で大変な面もあったが、イメージではなく実際に経験・お話を聞く事ができたので、ヘルパーという仕事をより一層やってみたいと思いました。別海町の印象としては、静かで住みやすい場所です。また来たい。」とお話しくれました。



別海町を知ってもらおう良体験となったようでした。

令和4年度

コンプライアンス研修



1月20日(金)に北海道中央会根釧支所高橋主査を講師に招き、若手職員を対象としたコンプライアンス研修が開催されました。

今年度の研修については、従来の講義型からグループワークを中心とした対話型の形式で研修を実施しました。職員を5グループに編成して「働きやすい職場づくりのために必要なこと」をテーマに現状の課題を挙げ、その課題についての問題点や解決策などを各グループで話し合い、最後に発表を行って、グループ間の課題の共有を行いました。

グループでは普段話す機会の少ない他部署の職員とも交流を深められ有意義な研修となりました。

中春別中学校

への

出張授業

の実施



1月27日(金)中春別中学校にて、3年生を対象とした総合学習授業を実施しました。授業では「J・Aについて」として、当J・Aの山形総務部長が講師となり、協同組合の立ち、組織の概要などを説明し、生徒に対して「J・Aがなかったら中春別はどうなると思いますか？」をテーマにグループに分かれて生徒で考えてもらい、地域から農業が無くなるなどの意見が出されました。それを受けて、J・Aが営農・生産資材・生産事業以外にも、金融共済や生活店舗、スタンプ事業を実施していること。また、J・Aグ

ループでは病院事業を行っており、巡回ドックなどを通じて、組合員をはじめ地域に暮らす人に向けて、営農だけではなく生活に関する事業を実施していることを動画により説明しました。生徒からは、J・Aが無くなったなら農業だけでなく地域が衰退して人がいなくなってしまうなどの意見が出され、J・Aと地域の関わりについて理解が深まったと感じました。授業の最後に、ミルク王国についてのアイデアを質問したところ、「冬期間も営業して欲しい」、「芝生のところに飲食スペースを



作って欲しい」「学割を作って欲しい」などたくさん要望が出され、ミルク王国が生徒にとっても身近な存在であることに驚かされました。活発な意見交換など、生徒たち一同の真剣に取り組む姿が印象に残りました。今回の授業を通じて、将来の進路を決定する上で、中春別地域で活躍したいと考えるきっかけに繋がればと思います。今後もJ・Aとして、中春別コミュニティスクール協議会と連携し、地域の子供たちの教育活動を取進めてまいります。



熱

い トークが飛び交う

豊原酪農振興会

夢トーク



豊原酪農振興会（会長牧野修二）では、1月16日（月）に会員18名参加のもと、豊原会館にて「夢トーク」を開催しました。

夢トークは、昨今における、新型コロナウイルスによる農畜産物需要の減少やロシアによるウクライナ侵攻、肥料原料高騰、急激な円安による生産資材高騰等、酪農家にとって厳しい状況下の中、地域の仲間と対話を通じて情報共有を図り、少しでも経営に活かせるヒントや解決策、打開案を見つけ、この難局を乗り越えて行こうという思いのもと企画されました。

今回、パネラーに望月組合長を招き「酪農情勢と今後の展開」と題して開催されました。



前半では、望月組合長より、昨今における酪農情勢の報告や農協事業に係る今後の展望についてお話をいただき、後半部分では、望月組合長を含む参加者全員でのトークディスカッションが行われました。参加者からは、今後の酪農の在り方や農協事業における取進めの話など、熱いトークが飛び交い、あっという間に時間は過ぎ、夢トークが幕を閉じました。

コロナ禍により思うような集まりや事業展開が行えない状況下ではありますが、ざっくばらんにトークディスカッションを行い、情報共有を図り自身の経営のヒントを得ることができると大変有意義なものとなりました。



同志会通信

更なる乳牛改良を目指して

中春別乳牛改良同志会

第35回 定期総会



中春別乳牛改良同志会第35回定期総会が1月20日(金)にJ A 中春別農業者団地センター2階トレーニング室において開催されました。

総会開催を前に、令和4年度新規エクセレント獲得並びに特別賞授賞式が行われ新規エクセレントを獲得された中西裕哉さんに記念品の贈呈が行われました。

総会の開催にあたり寺澤佳吾会長より1年を振り返っての挨拶が述べられました。引き続き農協を代表して望月組合長、来賓の方々を代表して(一社)ジェネティクス北海道東事業所所長間木野尚司様よりご祝辞を頂きました。

議事進行にあたり美原地区の竹田潤さんが議長に選任され、議案第1号から議案第4号まで全て可決承認されました。



農地あっせん会議が開催される

令和5年度新規就農に向け、農協から提示された地区内就農候補地に係る農地について、1月24日別海町農業委員会による農地のおっせん会議が開催されました。

この度の農地あっせんは、豊原地区における2戸の就農候補地所有の農地を、就農を希望する当センター研修生2名にあっせんする内容であり、昨秋降雪の前に農業委員による現地調査が行われ、地番ごとに地形、傾斜等を基本に耕地・不可耕地を確認しながら価格を決定します。会議ではあっせんを申し出た組合員と、あっせん候補者（研



修生)に対し内容の説明があり、双方が了承した上で、農地売買等事業による取り進めの提示がありました。

2組の研修生は、すでに就農

に向け農協理事会での役員面談、農場リース事業の取進めによる畜舎改修、農業機械の選定等進めており、残り少ない研修期間を充実した内容にするため、日々の飼養管理に取組んでいきます。

今後の予定は、3月31日を

もって研修を修了し、4月から就農地での営農が開始され、12月の分娩及び搾乳開始に向け準備を進めるとともに、当センターも農協と連携しながら円滑に事業が進捗するよう、取り進めて参ります。



牧場にお邪魔すると、ホワイトボードを活用した情報共有・伝達を行っているところがたくさんあります。繁殖管理、牛群管理、子牛の管理、作業方法の伝達など用途は様々であり、牧場ごとにいろんなアイデアにあふれています。そんな活用例を今回はご紹介します。

番号	分娩	授精	次回発情	備考
1550	20.11.15	3/1 ⊕		
1551	20.12.15	3/26 ⊕		
1553	20.11.25 ♀			
1561	20.11.10 ♂			
1498	20.5.8 ♀	9/21 ⊕		四重胎児
1453	20.4.15 ♀	10/8 ⊕		+ 産後経過
1581	20.9.4 ♀	11/18	12/9	1/4 胎

繁殖管理に!

分娩、授精、発情など繁殖に関する情報共有です。シンプルズベスト! 区切りに用いる線は、消えないようにラインテープや油性ペンを使うと◎

牛群管理に!

個体番号の書かれたマグネットで管理しています。群ごとにホワイトボードを分けています。治療に関する情報も書き込めます。



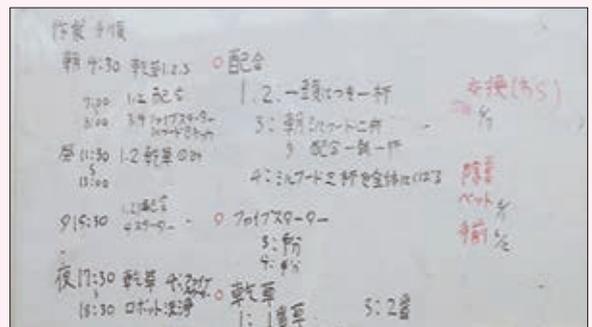
子牛管理に!

ペンorハッチの番号と子牛の個体番号を書き込むことで居場所が把握できます。また、ミルクの給与量・疾病状況・掃除の有無などを伝達できます。

乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛
B-1 3014	A-1	D-7 9025 NEW	B-6	
B-2 2971	A-2 3007	D-8	B-5	
B-3 3019	A-3 3012	D-9 3020	D-4	
B-4 2984	A-4 3008.07	D-3	D-3	
B-5 2993	A-5 2985	D-2	D-2	
B-6 2995			D-1	

作業方法の伝達に!

従業員や酪農ヘルパーへ作業を伝達する時に役立ちます。作業マニュアルも兼ねており、作業の平準化・統一化が図れます。



ホワイトボードは誰でもすぐに目につきやすく、家族間・従業員間での情報共有に優れています。効率的な管理を目指すための参考になれば幸いです。



●【酪農経営科】収穫感謝祭

12月16日(金)に収穫感謝祭が行われました。

前年度までは、3年生のみの実施でしたが、今年度より、「作ること食べることを通して農産物の利用について考えさせると共に自然の恵みに感謝し、生命の大切さを考える。」ことを目的とし、全学年での行事となりました。生徒は、鍋班とピザ班に分かれそれぞれ準備作業を行いました。

使用した食材は、本校で生産された白菜やチーズ・ベーコンなども含まれており、ピザは農場特製のピザ釜で焼き上げました。感染予防対策を徹底した中、出来上がった鍋とピザをほおぼる生徒達、鍋もピザもあっという間になくなってしまいました。



収穫感謝祭の様子

●【酪農経営科】ダイズ食味調査

酪農経営科1年生の授業で栽培していたダイズの食味調査を行いました。栽培・収穫・製品検査・加工を通して、農業の大変さややりがいを実感した一年となったのではないのでしょうか。ダイズを石臼で挽いてきな粉に加工し、食味調査と官能検査を行いました。初めて扱う石臼と少しずつできあがるきな粉に生徒は目を輝かせていました。



きな粉製造の様子

●【酪農経営科】日本農業新聞出前授業

10月から12月末までの期間、JA道東あさひ様、JAなかしゅんべつ様より、農業専門日刊紙「日本農業新聞」を学習教材として提供いただけることとなりました。今回はそのまとめとして日本農業新聞北海道支所の福原様にお越しいただき、新聞を活用した情報収集の仕方や、情報の活かし方についてご講義いただきました。



出前授業の様子

記事に対してのタイトルの付け方などの説明を受け、実際に記事を読んだ上でどのようなタイトルを付けるか、という質問に生徒は頭を悩ませながらも一生懸命作業に取り組んでいました。

●【専攻科】教科内視察実施報告

糞尿利用学で10月28日(金)渡邊清掃株式会社を訪問し、代表取締役 藤本 達也様から経営方針や事業内容の説明を受け、汚泥脱水処理の工場を見学させていただきました。学生から「企業理念の『私たちの仕事にムダはありません。』『日本一のお役立ち企業になる!』という言葉が仕事への誇りを感じました。自分も誇りを持ち新たなことに取り組んでいく意欲をいただきました。」との感想が聞かれました。

また、11月9日(水)別海バイオガス発電株式会社を訪問し、営業部長 小菅加奈子様のご案内で見学させていただきました。学生から「酪農家から大量の糞尿や企業の食品残渣を受け入れ、持続可能な農業を支えていただいていることがよく理解できました。」との感想が聞かれました。

乳牛管理学・草地生産学で浜中町で酪農を営みながら人工授精所も運営する看護師の竹内美妃様をお招きし11月4日(金)、講義をしていただきました。14日(月)には竹内牧場を視察させていただき、管理方法や搾乳方法について話を伺いました。5頭の搾乳牛を飼育されており、搾乳施設のみで完全放牧・季節繁殖で11月には全頭乾乳。濃厚飼料は2kg/日程度の給餌で50kg/日泌乳する牛もいるそうです。病気はほぼ無く、牛はとても健康的に見えました。見学した学生は「冬の牛の様子をぜひ観察してみたい」と話していました。



竹内牧場牛乳処理施設の様子

●【専攻科】第2回特別教育活動実施

12月22日(木)に第2回特別教育活動を実施しました。学生により企画され、食事交流会では、アジア料理や豚丼、シチューを協力して作った他、卓球大会などで親睦を深めました。最後に少し早いクリスマスプレゼントが各自にプレゼントされました。



クリスマスプレゼント

●【専攻科】冬季交通安全教室

12月23日(金)株式会社トマト保険企画様に講師を依頼し、交通安全に関わる講話を実施しました。近年、農業現場で増加している事故や違反行為など発生割合が高い事故について事例とともに説明していただきました。特に、夏の牧草収穫時期に多く、牽引作業に関わる違反行為なども発生しているということを教えていただきました。本科では、今年も無事故・無違反を達成しているため、今後も引き続き交通安全意識の啓発活動を行い、無事故・無違反に努めていきます。



交通安全教室の様子



各団体の詳しい取り組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

●JA北海道中央会



◆レバンガ北海道と国消国産パートナー契約を締結！

バスケットボールチームのレバンガ北海道とJAグループ北海道は、農畜産物の消費拡大等を目指し、国消国産パートナー契約を締結しました。レバンガ北海道のホームゲームでは、「チームの白星」と「3つの白（米・牛乳・砂糖）」を掛け合わせた各アクションや相手選手のフリースロー時に会場に牛の鳴き声が響く「モーニング」を実施します。チケット購入者に、道産食品が当たる国消国産シートを設けるなど今後も連携活動を展開して参ります。



◆JAグループ北海道 感謝祭を開催！

11月13日に新札幌サンピアザにてJAグループ北海道 感謝祭を開催しました。当日は、みんなで考えよう国消国産をテーマにステージイベントとブース出展を行いました。ステージイベントには、お笑いコンビ「タカアンドトシ」さんが登場し、会場は大盛り上がり！ブースでは、わたあめ作り・模擬牛による搾乳体験等の食育ブースや、野菜の詰め放題などに多くの人が集まり、大盛況にて終わることができました。



●JA北海道信連



◆ゆきのね奨励金への協賛

JA北海道信連では、ウィンタースポーツに取り組む道内の子どもたちを支援する助成事業「ゆきのね奨励金」への協賛を行っています。

令和4年度はアルペンスキー、スノーフトボール等6市町村8種目8団体への助成が決定しています。

令和5年1・2月には、札幌市近郊でJAバンク北海道プレゼンツの「クロカンスキートレーニング体験」



も開催予定です。協賛を通じて、子どもたちがスポーツを楽しみながら体験・挑戦できる環境づくりを応援します。

●JA共済連北海道



◆交通安全ポスターコンクールを開催

JA共済は、交通事故の未然防止と交通安全の意識向上を目的に、小・中学生交通安全ポスターコンクールを開催しております。入賞作品は、道や道警関連団体の交通安全啓発資材等に採用されます。また、令和5年2月に札幌駅前通地下歩行空間での展示が予定されております。

〈北海道知事賞〉



●ホクレン



◆牛乳消費拡大の新テレビCM放映中

一日の元気を作る毎朝の習慣に、北海道の美味しい牛乳をオススメする「モォ～ニングルーティンプロジェクト」のテレビCMを12月25日から全道で放映開始しました。

ホクレンアンバサダーを務める森崎博之さん、ボーイズユニットNORD（ノール）、阿部凜さんが出演し、朝に牛乳を飲む習慣を提案。CMの動画は、特設サイトからも視聴できます。



●JA北海道厚生連



◆北海道農村医学会を開催

10月22日に第72回北海道農村医学会を開催しました。今回は札幌厚生病院を会場に旭川・帯広・遠軽・網走・倶知安とオンラインで繋ぎながらの開催となりました。

学会は、本会の医師が中心となり、疾病や統計調査等の研究活動を行うもので、健診受診者の疾病分析や生活習慣病対策などに幅広く成果をあげています。

シンポジウムでは、研究発表の他「医療現場における働き方改革への取組」をテーマに議論が行われました。



第12回 理事会の動き

令和5年1月26日(木)

報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 組合員の脱退について
- 3 令和4年度12月末財務状況について
- 4 令和4年度12月末購買事業実績について
- 5 令和4年度12月末子会社の財務状況について
- 6 不祥事対応要領の一部改正について
- 7 固定資産の取得について
- 8 令和4年度12月末営農関連実績について
- 9 令和4営農年度クミカン精算状況について
- 10 令和5営農年度階層区分について
- 11 令和5営農年度信用限度について
- 12 令和4年度自給飼料生産性向上対策事業に係る実績について
- 13 特定疾病感染状況について



議案

- 1 出資金の譲渡について
- 2 出資金の減口について
- 3 令和4年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
- 4 コンプライアンス規程ならびにコンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- 5 美原公共肉牛牧場に係る固定資産取得並びに不動産売買契約の締結について
- 6 令和4年度酪農生産基盤確保対策事業の実施について
- 7 リース契約の締結について
- 8 令和5営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
- 9 令和5営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員（案）について

12月乳質乳価一覧表

		単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)	
乳脂肪分		956.247		40.28	38.53	1.75	
無脂乳固形分		606.934		53.81	52.47	1.34	
生産者補給金		6.6915		6.69	6.70	-0.01	
集送乳調整金		2.0982		2.10	2.10	0.00	
補給金合計		8.7897		8.79	8.80	-0.01	
乳質 単価	生菌数	ランク1	2	321,781,413.4	3.83	3.79	0.04
		ランク2	0	7,604,616.6			
		ランク3	-3	281,798.1			
	体細胞数	ランク1	2	306,177,288.7			
		ランク2	1	12,198,616.5			
		ランク3	-2	2,761,980.1			
合計				106.71	103.59	3.12	

12月生乳受託実績表

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	40円28銭	
無脂乳固形分②	53円81銭	
生産者補給金③	6円69銭	
集送乳調整金④	2円10銭	
脂肪率	全道	4.21%
	農協	4.29%
無脂固形分率	全道	8.87%
	農協	8.81%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道	102円88銭
	農協	103円25銭
乳質乳価⑥	全道	3円83銭
	農協	3円77銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道	106円71銭
	農協	107円02銭
	差異	0円31銭

農業後継者・女性農業者の皆さま

正組合員になりませんか？

組合員の皆さまには、日頃よりJA各事業に格別のご支援、ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

これからの地域農業を守り、発展させていくためには農業後継者・女性農業者の意見が大変重要になってまいります。皆さまの声をJAの事業運営に反映させ、より良いJAづくりに向け正組合員となり、積極的にJA運営に参画くださいますようお願い申し上げます。

正組合員資格

- 1 1ヘクタール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地または住所がこの組合の地区内にあるもの
- 2 1年のうち150日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
- 3 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額または出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所またはその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

↑ 上記いずれかの要件を満たしていれば加入できます。

出資金基準

- 1 出資金額は 1口あたり5,000円となります。
※ 1口からでも加入可能です。

よろしくお願ひします



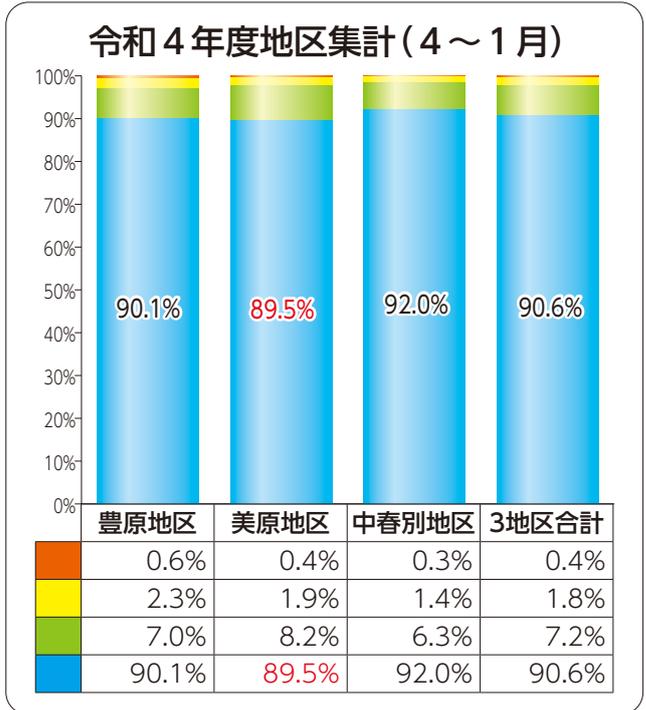
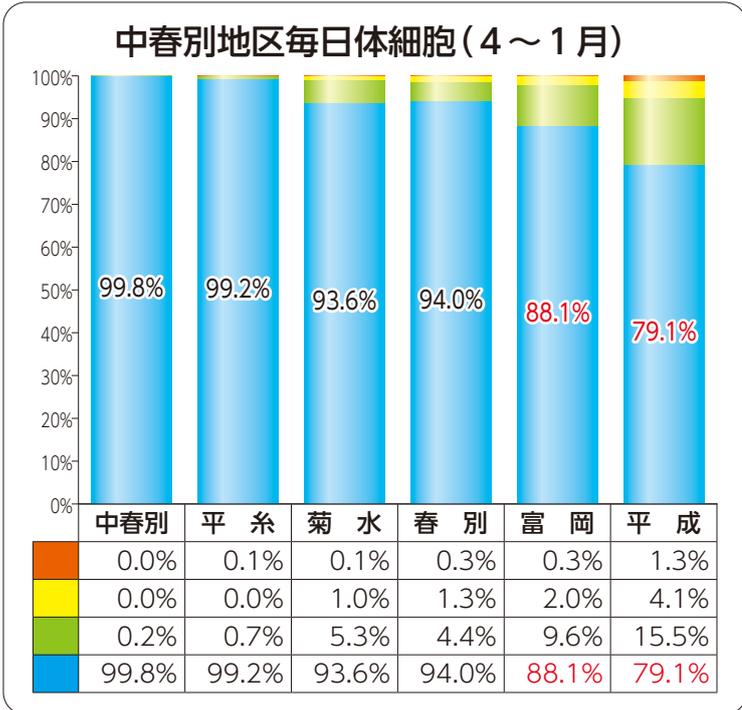
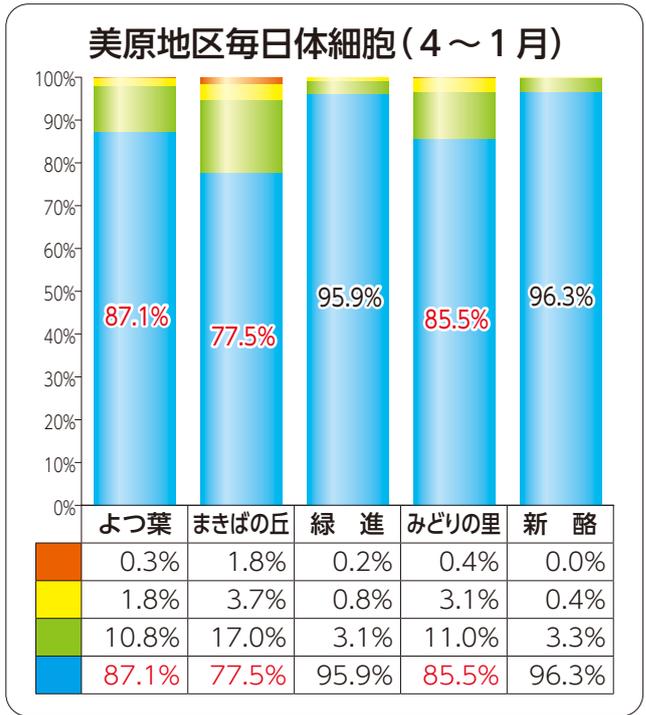
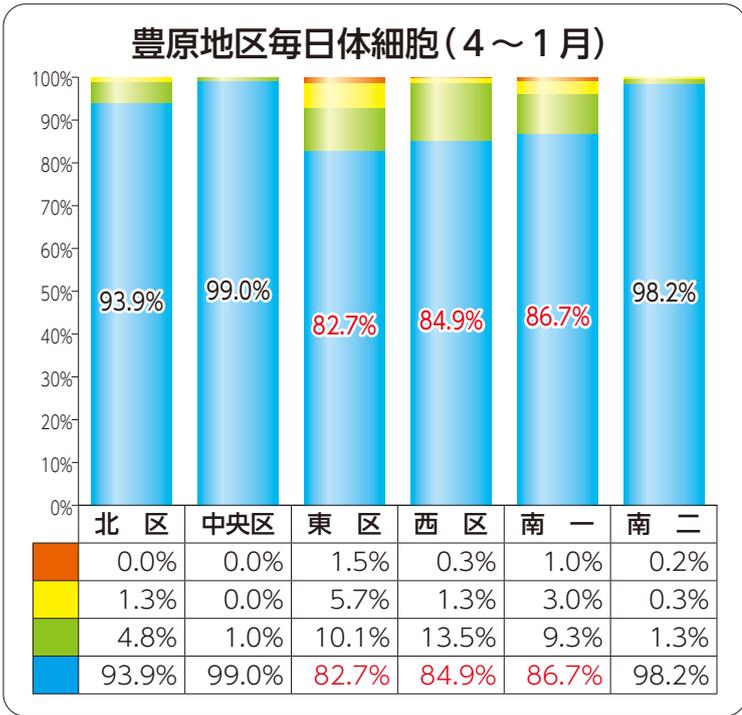
加入に際してのご相談・お問合せについては
管理課（TEL：76-2311）までお願い致します。

生乳汚染事故を無くそう!

令和5年1月31日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質 混入事故	2件	8件
生菌による汚染事故	0件	0件
異物混入 、加水、血乳による汚染事故	0件	1件
異臭、 異常風味 による汚染事故	0件	1件

**ミルクドクターの
習慣化から始めよう!
抗生物質混入事故防止!!**

良質生乳生産推進委員からの標語



凡例： ■ 50.5万以上 ■ 40.5~50.4 ■ 30.5~40.4 ■ 30.4万以下

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

抽選で5名の方に
牛乳引換券を
プレゼント!!



1	6			13	16	19
2			11			
3		8				
		9		14		20
	7		12		17	
4		10			18	
5				15		

(出題) ニコロ

ヨコのカギ

- 暑さ寒さも——まで
- 佐渡、淡路、隠岐といえ
- 多くの受験生が解くもの
- 数学ではxやyで表すことが多い
- ツクシはこの植物の孢子茎です
- 飛行機が飛び立つこと
- 薄く切ったもの。——チーズ
- 山下公園や中華街があります
- 卒業式で『——の光』を歌った
- イルカのヒット曲『——雪』
- 衣服に付いている、洗濯表示などが載っている部分

タテのカギ

- ひな人形に供える餅
- 入試のときはケアレス——に気を付けて
- ぐっと辛抱すること
- ウドの生産量が日本一の、北関東にある県
- 跳ね上げたひげが特徴的なスペインの画家
- 石が細かく砕けたもの
- 雪解けで川の——が増えた
- つくのはうそ、吹くのは
- 中華がゆなどにのせる赤い実
- スタッドレスからノーマルに替えようかな
- 宿屋のこと。漢字では旅籠と書きます
- 出かけていて誰もいません
- ひな祭りのうしお汁によく使われる貝

正解者の中から抽選で5名の方に牛乳引換券をプレゼント（郵送）いたします。
《応募方法》 営農振興課宛にFAX(76-2341)でご応募ください。
《応募締切》 令和5年2月28日(火)まで

※ご住所・応募者のお名前を必ずご記入ください。記入漏れがありますと、抽選対象から外れる場合もございますのでご注意ください。
 ※ご応募に関して取得した個人情報はこの度の景品の抽選以外には使用いたしません。

2月号のこたえ

A B C D E

住 所 〒

名 前

電話番号

返信先: JA中春別 FAX76-2341 (営農振興課宛)

12月号の正解は

A B C D
フリソデ
でした

7	ソ	ダ	ガ	ツ	キ
2	ツ	ム	ジ	シ	リ
3	バ	リ	シ	ヨ	ネ
8	エ	イ	ヨ	ウ	シ
4	メ	テ	キ	ユ	ミ
5	オ	デ	ン	ブ	ラン
6	ト	シ	タ	フ	ジ

当選者発表

たくさんの応募ありがとうございました。
 第5回は山形則和総務部長に抽選して頂きました！



- 戸村 珀 翔
 久 慈 柊花里
 平 井 優 一
 阿 部 郁 子
 佐々木 良 介

(敬称略)